

施工業者様用

〈施工説明書〉

内装ドア

TG-CD

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・はさまれ注意!

強くドアが閉まると指のはさまれや衝撃によるガラスの割れ等が起こる原因となり危険ですので、ドアクローザーやドアストッパーをお使いください。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒドVOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒドVOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・ドアをはずして再度取り付ける際にはドア側丁番のロックボタンが、プレートの手前まである事を確認する。

ドアを取り外した際にはロックボタンがプレートの手前に戻りますが、再度取り付けの際には今一度ご確認の上取り付けを行ってください。

・ドアクローザーは上部木口より50mm以内に取り付ける。

ドアクローザーを50mm以上離れた位置に取り付けるとビスがきかなくなり、ドアクローザーが脱落する原因となり危険です。

・レバーハンドル用取り付けビスは確実に締める。

レバーハンドル取り付け用のビスの締め忘れ、ゆるみ等による開閉はレバーの脱落の原因になりますので必ず取り付けビスは確実に締めてください。

・丁番用固定ネジは確実に締める。

丁番用固定ネジの締め忘れ、ゆるみ等による開閉はドア脱落の原因になりますので、必ず固定ネジは確実に締めてください。施工後に再確認をお願いいたします。

施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を堅くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

開梱

梱包を開いたらドア本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

■全体図

■A シングルドア (親子ドア用親ドア)



■B 親子ドア用 子ドア



お願い

同梱されています3mmレンチと使用説明書は、必ずお施主様に行き渡るようご配慮願います。

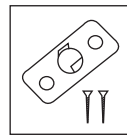
■梱包内訳表

■A シングルドア(親子ドア用親ドア)

	部材名	数量	備 考
	ドア	1 枚	丁番取付済、錠ケース取付済
	施工説明書	1 部	
	使用説明書	1 部	必ずお施主様に渡してください

■B 親子ドア用子ドア

	部材名	数量	備 考
	ドア	1 枚	丁番取付済、ラッチ受取付済、フランス落とし金具取付済
	フランス落とし受け金具	1 セット	ビス付
	施工説明書	1 部	
	使用説明書	1 部	必ずお施主様に渡してください



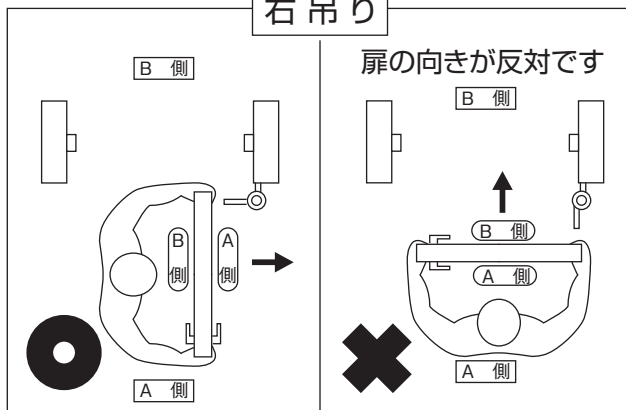
レバーハンドル(別売品)

	部材名	数量	備 考
	レバーハンドル	1 セット	
	3mmレンチ	1 本	必ずお施主様に渡してください

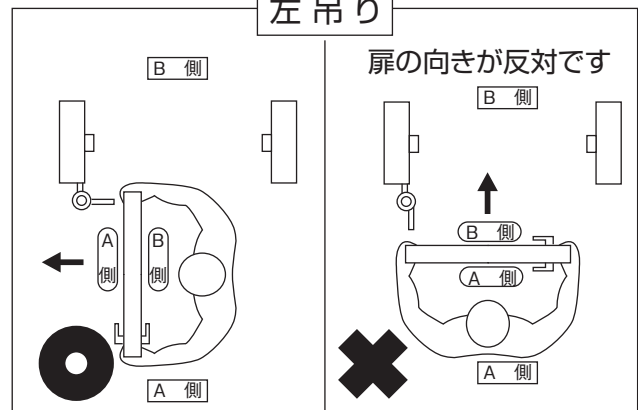
扉吊り込み時の向きにご注意ください

扉を逆に吊り込むと丁番を破損するおそれがあります。

右 吊り



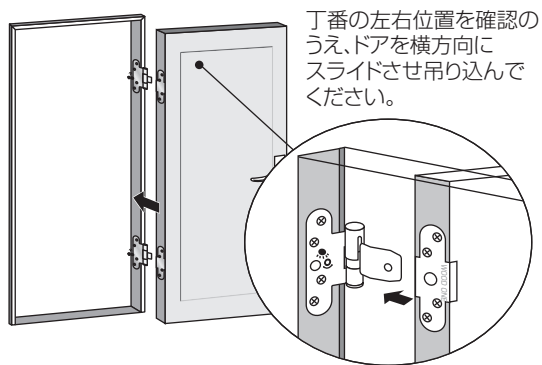
左 吊り



お願い

- 施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- 照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

■ドアの吊り込み

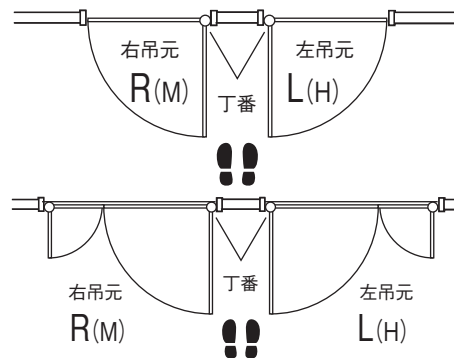


丁番の左右位置を確認の
うへ、ドアを横方向に
スライドさせ吊り込んで
ください。

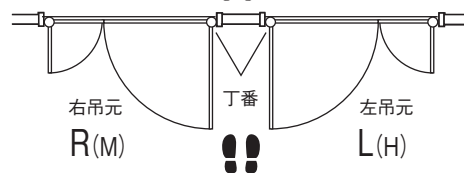
お願い

レバーハンドル取付までは、ドアを閉めないでください。

シングルドア・ トイレドアの場合



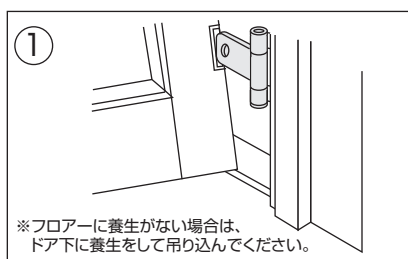
親子ドアの場合



開く側から見た時の親ドアの吊り元が
基準になります。

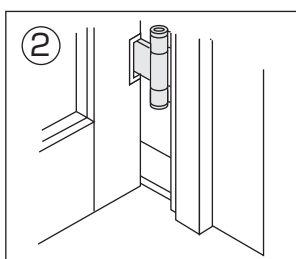
⚠ 注意

ドアをはずして再度取り付ける際にはドア側丁番のロックボタンが、プレートの手前まである事を
ご確認ください。ドアを取り外した際にはロックボタンがプレートの手前に戻りますが、再度取り
付けの際には今一度ご確認の上取り付けを行ってください。

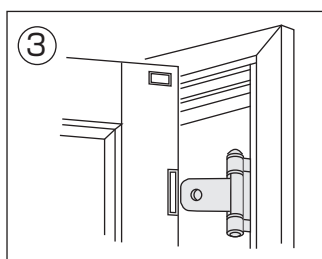


※フローアーに養生がない場合は、
ドア下に養生をして吊り込んでください。

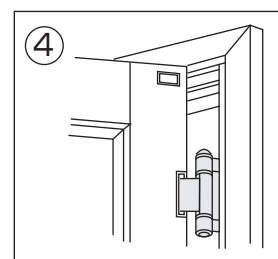
吊り込む方だけを少し持ち上げて、
下側のベロを差し込みます。



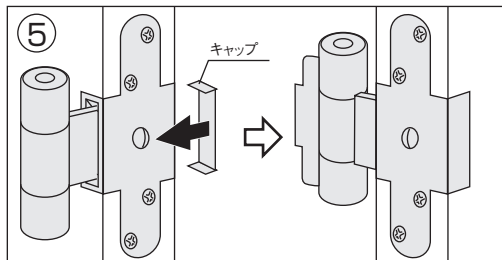
カチッと音がし、固定されるまで
差し込んでください。



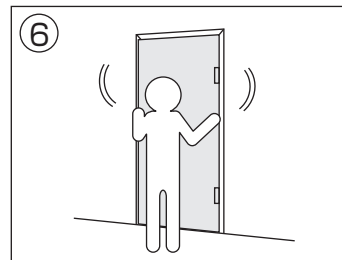
上部のベロを位置合わせします。



カチッと音がし、固定されたら
吊り込み完了です。

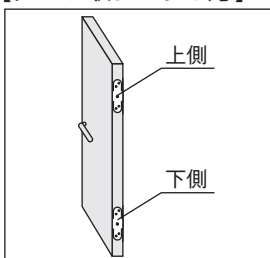


反対側の木口には
キャップをして仕上げます。
キャップは縦枠丁番の
ベロにセロテープで
取り付けてあります。
それをはがしてお使い
ください。

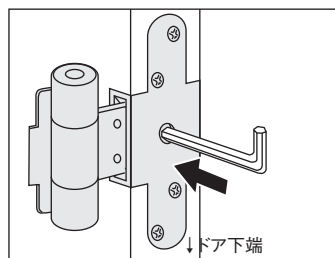


軽く前後にゆすって
外れないことを確認
してください。

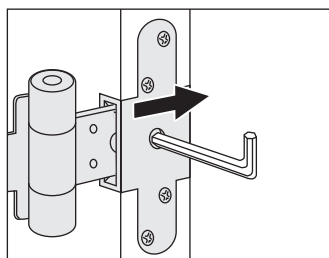
【ドアの取りはずし方】



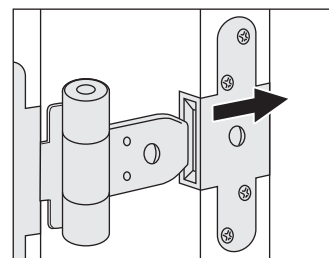
(1) ドア側丁番の下側から
必ず行ってください。



(2) ドア側丁番の解除穴に六角レンチ
を差し込んで押さえてください。



(3) ドアを少しずらすように引いて、ロ
ック解除状態にしてください。

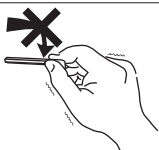


(4) 同時にドア側丁番の上側を行って、
ロック解除状態にしてください。

(5) 上側と下側の両方共にロック
解除状態にしてドアをゆっくり
と取り外してください。

お願い

破損の原因になりますので、きつく力を
込めて押すのはおやめください。

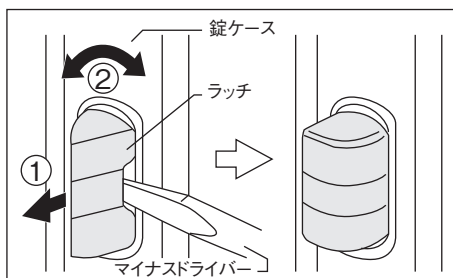


お願い

金具の固定を行う際は、過大トルクを発生させる工具の使用により、商品に悪影響
を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

■ラッチの設定

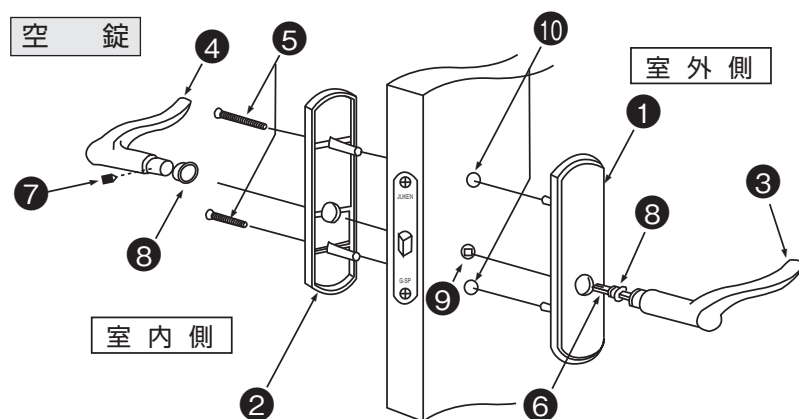
ラッチは右吊で設定してあります。
左吊の時は必ず下図のように
ラッチを反転させてください。



- ①ラッチの水平側の差し込みに
マイナスドライバーを入れて
前に出します。
- ②ラッチを反転させてください。

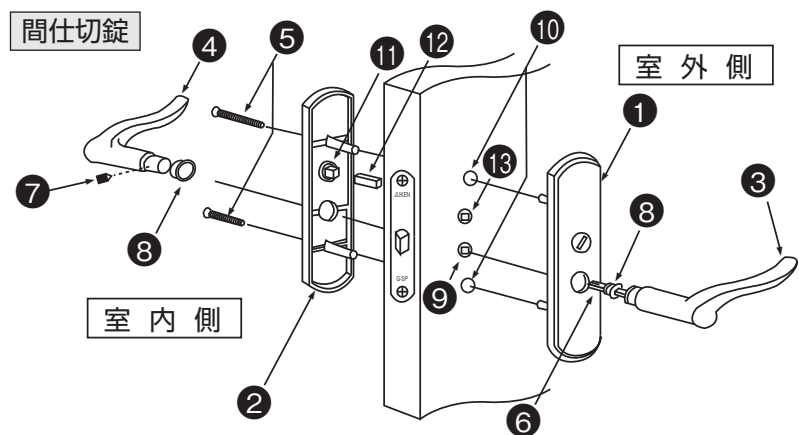
■レバーハンドルの取り付け

●長座の場合



レバーハンドルの取り付け

- (1) 室外側より外部ハンドル座⑩に挿入してください。
- (2) 室内側より内部ハンドル座②をはめ込み、ハンドル座取り付けビス⑤で締め付けてください。
- (3) レバーハンドル③を角芯穴⑨に通して、反対側のレバーハンドル④を角芯⑥と合わせて、取り付けビス⑦で締め付けてください。(ナイロンワッシャ⑧のセット忘れのないようご注意ください。)



部材・部位名

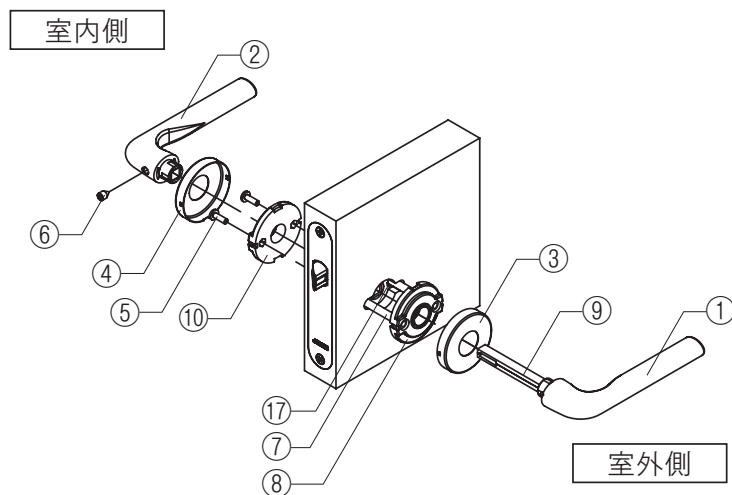
①	外部ハンドル座(室外側)
②	内部ハンドル座(室内側)
③	レバーハンドル(室外側)
④	レバーハンドル(室内側)
⑤	ハンドル座取り付けビス
⑥	角芯
⑦	取り付けビス
⑧	ナイロンワッシャ
⑨	角芯穴
⑩	切欠き穴

⚠ 注意

レバー脱落防止の為、レバーハンドル用取り付けビスは確実に締めてください。ガタつきなどの原因となりますのでインパクトドライバーを使用する施工はご遠慮ください。

■レバーハンドルの取付

●丸座の場合

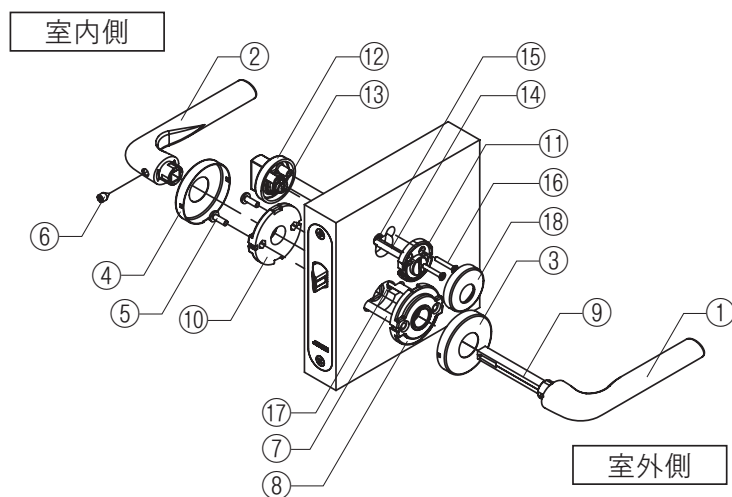


空錠

レバーハンドルの取付

- (1) 外部ハンドル座⑧に取付ネジ柱⑦を2個挿入し、化粧カバー③をかぶせ、切り込み穴⑦に挿入してください。
- (2) 室内側より内部ハンドル座⑩をはめ込み、座取付ビス⑤で仮固定してください。
次にレバーハンドル①、②をセットし、レバーハンドルが正常に作動するかを確認したうえ、座取付ビス⑤を本締めしてください。
- (3) 室内側より、化粧カバー④をかぶせて、レバーハンドル②をハンドル固定ビス⑥にて固定してください。

■間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付



間仕切錠、表示錠、シリンダー錠

間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付

- (1) 鍵座⑪の連結板⑭をハブ穴⑮に挿入してください。
- (2) サムターン穴⑬にハブ穴⑮を貫通してきた連結板⑭を挿入しサムターン座取付ビス⑩で固定し、正常作動するかを確認してください。
シリンダー錠はキーを抜いた状態で取り付けてください。
- (3) 操作がスムーズであればカバー⑱をはめ込んでください。

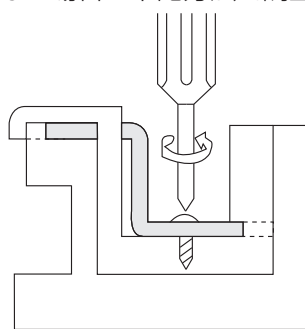
部材・部位名							
①	レバーハンドル(室外側)	⑥	ハンドル固定ビス	⑪	鍵座	⑮	ハブ穴
②	レバーハンドル(室内側)	⑦	取付ネジ柱	⑫	サムターン座	⑯	サムターン座取付ビス
③	化粧カバー(室外側)	⑧	外部ハンドル座	⑬	サムターン穴	⑰	切り込み穴
④	化粧カバー(室内側)	⑨	角芯	⑭	連結板	⑱	カバー
⑤	座取付ビス	⑩	内部ハンドル座				

■ドアの上下・左右およびラッチ受けの調整

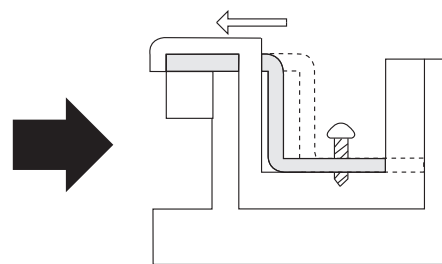
ドアと枠の隙間が適切になるようにドアの丁番を調整してください。また、ドアがガタつく場合、あるいはラッチが入りきらない場合はラッチ受けの調整機能を使って建て付けの補正を行ってください。

(イ) ラッチが正常にラッチ受けに納まらない場合は下記方法で調整してください。

調整ラッチ受け



ラッチ受けの中の固定ネジを
④ドライバーでゆるめます。



スライド板を矢印の方向に動かし、広げます。位置を確認して、固定ネジを締め、完了です。

(ロ) ドアの調整方法については、以下「ドアの調整の仕方」を参照してください。

■フランス落し受け金具の取り付け

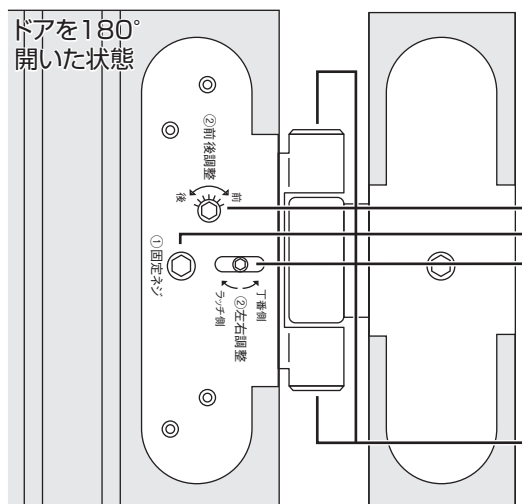
下図のように下枠または、床面に直接φ12の穴加工を施し、そこに受け金具をかぶせビスにて固定してください。

(単位:mm)

	調 整 枠	固定枠(90・113・155・170幅)										
3方枠 (下枠なし)の場合		<table><tr><th></th><th>90幅</th><th>113幅</th><th>155幅</th><th>170幅</th></tr><tr><td>a</td><td>23</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td></tr></table>		90幅	113幅	155幅	170幅	a	23	28	28	28
	90幅	113幅	155幅	170幅								
a	23	28	28	28								
4方枠 (下枠付)の場合		<table><tr><th></th><th>90幅</th><th>113幅</th><th>155幅</th><th>170幅</th></tr><tr><td>b</td><td>19</td><td>22.5</td><td>22.5</td><td>22.5</td></tr></table>		90幅	113幅	155幅	170幅	b	19	22.5	22.5	22.5
	90幅	113幅	155幅	170幅								
b	19	22.5	22.5	22.5								

■調整丁番〈各部名称と機能〉

ドアを180°
開いた状態



手順

① → ② → ①
(ゆるめる) (調整) (しめる)
※上下調整は③のみで行います。

①固定ネジ

調整前にゆるめる
調整後にしめる

②左右調整ネジ

ドアを左右に調整
丁番側 2mm } 調整可能
ラッチ側 2mm }

②前後調整ネジ

ドアを前後に調整
前(戸当り側から離す) 2mm } 調整可能(1目盛1mm)
後(戸当り側に近づける) 2mm }

③上下調整ネジ

上 2mm } 調整可能
下 2mm }

●すべて同梱の3mmレンチ1本で調整できます。

お願い

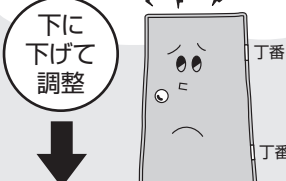
固定ネジを締め付ける際は、六角レンチの頭をしっかりとさし込んでから行ってください。固定ネジの頭がつぶれるおそれがあります。

特許出願中

■ドアの調整の仕方

A ドアの上部が枠に当たるようになった。

下に下げて調整



- 1 下丁番の下部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、ネジをゆるめておきます。


まず下丁番の下ネジをゆるめます。
- 2 ドアの上部がスムーズに動くまで、ドアと枠とのスキ間を見ながら、上丁番の下部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させます。
 (ドアが少しずつさがります)
- 3 上丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。

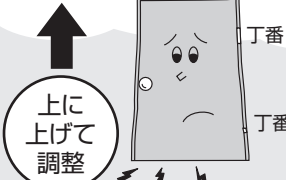

ドアがスムーズに動く位置で上丁番の上ネジを固定。
- 4 下丁番の下部調整ネジを、止まるまで上から見て時計と逆回りに回転させます。


はじめにゆるめた下丁番の下ネジをもとにもどして
- 5 下丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。


最後に下丁番の上ネジを固定。

B ドアの下部が枠に当たるようになった。

上に上げて調整



- 1 上下の丁番ともそれぞれの上部調整ネジを、上から見て時計と逆回りに回転させ、ドアを上げる余裕を作っておきます。


まず両方の丁番の上ネジをゆるめておきます。
- 2 ドアの下部がスムーズに動くまで、ドアと枠とのスキ間を見ながら、上丁番の下部調整ネジを、上から見て時計と逆回りに回転させます。
 (ドアが少しずつあがります)
- 3 上丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。

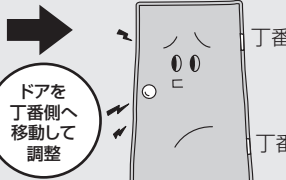

ドアがスムーズに動く位置で上丁番の上ネジを固定。
- 4 下丁番の下部調整ネジを、止まるまで上から見て時計と逆回りに回転させます。

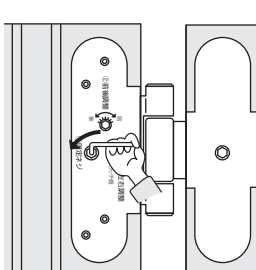
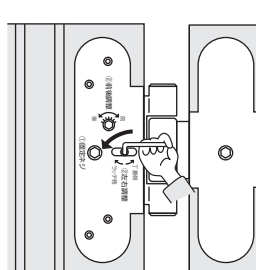
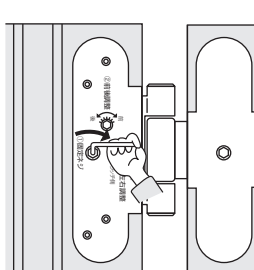

下丁番の下ネジを止まるまで回して
- 5 下丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。


最後に下丁番の上ネジを固定。

C ドアのレバーハンドル側につかえるようになった。

ドアを丁番側へ移動して調整



- 1 固定ネジをゆるめます。

- 2 左右調整ネジを「丁番側」に回転させます。

- 3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。


D ドアのレバーハンドル側にすき間が開きすぎる。ドアをレバーハンドル側へ移動して調整

ドアをレバーハンドル側へ移動して調整

1 固定ネジをゆるめます。

2 左右調整ネジを「ラッチ側」に回転させます。

3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。

E ドアが枠より出すぎている場合

ドアを戸当たり側へ移動して調整

1 固定ネジをゆるめます。

2 ドア本体を戸当たり側に動かすために前後調整ネジを「後」側に回転させます。

3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。

F ドアが枠より入り込みすぎている場合

ドアを外側へ移動して調整

1 固定ネジをゆるめます。

2 ドア本体を枠外側に動かすために前後調整ネジを「前」側に回転させます。

3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。